

社会資本総合整備計画 事後評価書(中間評価書)

計画の名称	豊かさを創り合う住生活の実現(地域住宅計画)																															
計画の期間	平成31年度～令和4年度(4年間)					交付対象	静岡市																									
計画の目標	静岡市における住宅セーフティネットの整備、及び子育て世帯や高齢者世帯等に対応した住宅の提供により、住生活の向上を図る。また、空き家ストックの有効活用や市内定住希望者への住宅取得支援等により、地域コミュニティの活性化を推進する。																															
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営住宅における住戸改善による居住性向上の推進</li> <li>市営住宅における長寿命化改修の推進</li> <li>空き家ストックの活用促進</li> </ul>																															
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H31当初)</th> <th>中間目標値 (R2当初)</th> <th>最終目標値 (R4末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 長寿命化計画に位置付けた維持管理すべき団地のうち、住戸内のバリアフリー改修等により居住性向上の推進を図るなどの住戸改善を実施した団地住戸数の割合 (住戸改善を実施した住戸数の割合) = (住戸改善を実施した住戸数) / (長寿命化計画に維持管理で位置付けた住戸数)</td> <td>0%</td> <td>—</td> <td>50%</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>② 長寿命化計画に位置付けた維持管理すべき団地のうち、配管の耐久性向上や給水方式の変更により長寿命化を図るなどの給排水改修を実施した団地棟数の割合 (給排水改修を実施した棟数の割合) = (給排水改修を実施した棟数) / (長寿命化計画に維持管理で位置付けた棟数)</td> <td>34%</td> <td>—</td> <td>58%</td> </tr> <tr> <td>③ 事業実施状況をもとに算出する 計画期間内における空き家改修補助事業の実施件数</td> <td>0件</td> <td>—</td> <td>10件</td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (R2当初)	最終目標値 (R4末)	① 長寿命化計画に位置付けた維持管理すべき団地のうち、住戸内のバリアフリー改修等により居住性向上の推進を図るなどの住戸改善を実施した団地住戸数の割合 (住戸改善を実施した住戸数の割合) = (住戸改善を実施した住戸数) / (長寿命化計画に維持管理で位置付けた住戸数)	0%	—	50%		② 長寿命化計画に位置付けた維持管理すべき団地のうち、配管の耐久性向上や給水方式の変更により長寿命化を図るなどの給排水改修を実施した団地棟数の割合 (給排水改修を実施した棟数の割合) = (給排水改修を実施した棟数) / (長寿命化計画に維持管理で位置付けた棟数)	34%	—	58%	③ 事業実施状況をもとに算出する 計画期間内における空き家改修補助事業の実施件数	0件	—	10件
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																												
	当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (R2当初)	最終目標値 (R4末)																													
① 長寿命化計画に位置付けた維持管理すべき団地のうち、住戸内のバリアフリー改修等により居住性向上の推進を図るなどの住戸改善を実施した団地住戸数の割合 (住戸改善を実施した住戸数の割合) = (住戸改善を実施した住戸数) / (長寿命化計画に維持管理で位置付けた住戸数)	0%	—	50%																													
② 長寿命化計画に位置付けた維持管理すべき団地のうち、配管の耐久性向上や給水方式の変更により長寿命化を図るなどの給排水改修を実施した団地棟数の割合 (給排水改修を実施した棟数の割合) = (給排水改修を実施した棟数) / (長寿命化計画に維持管理で位置付けた棟数)	34%	—	58%																													
③ 事業実施状況をもとに算出する 計画期間内における空き家改修補助事業の実施件数	0件	—	10件																													
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,313百万円	A	1,313百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%																						
<b>事後評価(中間評価)</b>																																
○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期																																
事後評価の実施体制						事後評価(中間評価)の実施時期																										
市内部において評価を実施した後、学識経験者等の第三者で構成される静岡市公共事業評価委員会による審査を実施する。						令和6年度 公表の方法 委員会での審議結果等を市のホームページに掲載する。																										
1. 交付対象事業の進捗状況																																
交付対象事業																																
A15 地域住宅計画に基づく事業(基幹事業)																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H31	R2	R3	R4																				
A15-001	住宅	一般	静岡市	直接	市	公営住宅等ストック総合改善事業	市営住宅の個別改善事業	静岡市						990																		
A15-002	住宅	一般	静岡市	間接	市/個人	公的賃貸住宅家賃低廉化事業	地域優良賃貸住宅の家賃低廉化事業	静岡市						246																		
A15-003	住宅	一般	静岡市	間接	市/個人	地域住宅政策推進事業(民間住宅支援事業)	子育て世帯住宅取得資金利子補給事業	静岡市						1																		
A15-004	住宅	一般	静岡市	間接	市/個人	地域住宅政策推進事業(民間住宅支援事業)	定住促進のための支援事業(空き家改修補助事業)	静岡市						7																		
A15-005	住宅	一般	静岡市	直接	市	公営住宅等整備事業	市営住宅の建替事業	静岡市						65																		
A15-006	住宅	一般	静岡市	直接	市	地域住宅政策推進事業	静岡市住生活基本計画の改定	静岡市						4																		
合計													1,313																			
B 関連社会資本整備事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H31	R2	R3	R4																				
合計																																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																				
C 効果促進事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H31	R2	R3	R4																				
合計																																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																				

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>指標①：住戸内の間取りの変更や設備の更新、手すりの設置等により居住性が向上することで、子育てや高齢者世帯等に対応した市営住宅に改善し、住生活の向上に寄与した。</p> <p>指標②：老朽化した配管の更新及び給水方式の変更による給排水改修を実施することで、建物の長寿命化を図り、団地入居者の居住性向上に寄与した。</p> <p>指標③：流通していない空き家ストックの有効活用で、市内の移住・定住を促進し、地域コミュニティの活性化に寄与した。</p>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（住戸改善戸数の割合）	最終目標値	50%	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初予定していた工事業費に対して、契約時の差金が発生したため、予算の範囲内で想定より多くの住戸の改修工事を実施でき、最終目標値より多くなった。</li> <li>・給排水改修工事を実施するにあたり、入居者の仮移転をする必要があったが、予定していた棟の入居者より事前に同意が得られず、入居者の仮移転が計画どおり進まなかったため。</li> </ul>
		最終実績値	58.79%		
	指標②（給排水改修棟の割合）	最終目標値	58%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	53.93%		
	指標③（空き家改修補助件数）	最終目標値	10件	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	10件		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期計画についても、引き続き、市営住宅の長寿命化改修を実施し、空き家ストックの活用促進については空き家改修補助金を拡充し事業を実施していく。</li> </ul>					